東北の支援現場から知る「子どもの貧困」
公開シンポジウム開催のご案内

日本では６人に１人の子どもが相対的貧困下にあります。この状況を変えていこうと様々な支援団体が活動を展開しています。政府は「子供の貧困対策に関する大綱」を１年前に発表しましたが、子どもの貧困をなくすにはまだ多くの課題があります。
今回はセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（SCJ）とゴールドマン・サックスが 2014 年に実施した「ゴールドマン・サックス×SCJ　こども☆はぐくみファンド　子どもの貧困　NPO 助成プログラム」の活動報告を通じ、子どもの権利の観点からみた「子どもの貧困」の問題点、東北の支援現場から見た子どもたちや家庭の現状、支援活動上の課題などを有識者や支援団体の発表も交えながら考えます。皆様のご参加をお待ちしております。

日時　2015 年９月 11 日（金）18:30～20:30（開場 18:00）

会場　コンベンションホール　AP 浜松町

参加費無料　定員 100 名（申込制）

※託児あり（無料　要事前申込　0～12 歳対象）

●基調講演
立教大学
コミュニティ福祉学部教授
湯澤　直美氏

参加申込については
裏面をご覧ください！

●活動報告
NPO 法人
まきばフリースクール
理事
中山　崇志氏

●活動報告
NPO 法人ビーンズふくしま
子どもの貧困対策支援事業長
ひきこもり支援センター
コーディネーター
遠藤　宏志氏

会場　コンベンションホール AP 浜松町

〈住所〉
東京都港区芝公園 2-4-1　芝パークビル B 館地下１階

〈アクセス〉
都営浅草線・大江戸線「大門」駅徒歩約３分
都営三田線「芝公園」駅徒歩約３分
モノレール「浜松町」駅徒歩約７分
JR 山手線・京浜東北線「浜松町」駅徒歩約７分

主催：公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
共催：ゴールドマン・サックス

Goldman Sachs Gives

Save the Children JAPAN

お申込み方法

事前申し込みが必要です。
定員に達し次第、締切ります。
※参加申込締切日　　９月１０日（木）
※託児の申込締切日　８月28日（金）
※託児対象　0～12歳　先着6～7名

申込みフォームまたは、電話、メールいずれかの方法にて以下の内容をお伝えください。
① お名前
② ご所属
③ 電話番号
④ メールアドレス
⑤ 託児利用有りの場合　お子様の人数、年齢、性別

申込みフォーム　下記QRコードより読込可能。

電話：03-6859-6869（担当　奥山／佐々木）

メール：hagukumi@savechildren.or.jp

プログラム

・基調講演　　湯澤　直美　氏
略歴：日本学術会議連携会員、日本社会福祉学会理事。「なくそう！子どもの貧困」全国ネットワークの運営を担う。共編書に「子どもの貧困白書」（明石書店）、「子どもの貧困ー子ども時代のしあわせ平等のために」（明石書店）、「大震災と子どもの貧困白書」（かもがわ出版）、「福祉政策理論の検証と展望」（中央法規）など。専攻は社会福祉学。貧困、ジェンダー、暴力等に焦点をあて、制度・政策論の研究を進めている。

・報告　津田　知子
略歴：公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン　東日本大震災復興支援事業部　副部長
2004 年入局。2010 年より、日本の子どもの貧困解決に向けた取り組み“Speaking Out Against Poverty(SOAP)”を担当。2011 年より東日本大震災復興支援事業に従事し、子ども参加によるまちづくり事業、給付型奨学金事業、「子どもの貧困 NPO 助成プログラム」事業などに携わっている。

・報告　綿貫　治子
略歴：ゴールドマン・サックス証券株式会社　取締役、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社　取締役。
1988 年法務部長として入社。1994 年ジェネラル・カウンセル就任、1997 年マネージング・ディレクター就任。2008 年取締役に就任。1978 年第二東京弁護士会に登録、アンダーソン・毛利・ラビノウィッツ法律事務所では上席弁護士を務めた。

・支援の現場から～助成先団体の活動報告～
活動報告(1)　NPO 法人　まきばフリースクール
団体略歴：1999 年から宮城県北地域、沿岸地域で不登校・ひきこもり・発達障害等で生きづらさを抱える子ども若者に対する教育・就労・生活等の支援活動を実施。
近年はその対象が広がり、様々な理由により家庭で生活できない子どもの養育や自立支援も行っている。様々な生きづらさを抱えた人たちが、ゆるやかにつながり、協調しあい、支え合いながら生きていける社会を目指す。

活動報告(2)　NPO 法人　ビーンズふくしま
団体略歴：1999 年、福島県で不登校の子どもたちの居場所としてフリースクールビーンズふくしまを設立。その後福島県内でひきこもり、貧困、震災による避難などの状況にいる子ども若者が孤立せず自分らしく生きられる社会を創るため、若者の就労支援、こころの相談室、子どもたちへの学習支援や仲間づくりの活動プログラムの提供、親の会などの活動を続けている。

◆ゴールドマン・サックス×SCJ　こども☆はぐくみファンド　子どもの貧困　NPO 助成プログラム　とは
「こども☆はぐくみファンド　子どもの貧困　NPO 助成プログラム」では、東北において子どもの貧困問題の解決に取り組む NPO への助成を行いました。子どもの成長環境の改善や学びなど、対象者のニーズに合った事業展開を支援し、貧困の連鎖を食い止めることを目指すと同時に、既に本分野で実績のある団体がより事業を拡大させ、他地域や他団体まで活動を広げ社会的な影響力を発揮することを促進することで、社会的仕組みや意識の変革を起こし、子ども達を貧困の連鎖から守るセーフティ・ネットが強化されることも目指しました。2014 年 1 月～12 月の 1 年間、8 団体へ助成を実施しました。